

# ハートリレーキャンペーン

## シーテック クリック募金 2025 報告書

クリック募金開設期間:2025年6月1日~2026年1月31日

クリック募金は、皆さまのご協力のおかげで期間内に 2万クリック を達成いたしました。ご支援くださいました皆さまに、心より感謝申し上げます。お寄せいただいたご寄付は、名古屋 NGO センター加盟団体のうち以下の 5 団体に配分し、各団体の活動に活用いたしました。ここに、2025 年度に実施した活動のご報告を申し上げます。

### (特活) DIFAR

2025 年度の DIFAR の活動は、ポリビア・バジェグランデ市における環境教育の制度化と地域主体の循環型社会づくりを中心に展開しました。

学校での日本式清掃活動「SOJI」やスポーツ型ごみ拾い「SPOGOMI」、4年生を対象とした環境教育プログラムを継続実施し、子どもたちの主体性と地域への責任意識を育てています。また、環境教育センターを拠

点に有機ごみの堆肥化や分別推進を進め、約 850 世帯が分別に参加する体制へと発展しました。



これらの取り組みは行政・学校・市民の協働によって支えられ、地域の尊厳を高めながら持続可能な生活への転換を目指すものです。これまでに培った経験とノウハウは、今後他地域や国際的な連携へと広げていく予定です。



### ニカラグアの会

2025 年度の活動としては、例年と同じく、ニカラグアの素朴画を使ったカレンダーを製作・販売し、350 部ぐらい売っています！ここで得た収益金を、太陽光パネル

製作講習会や工房としてお借りしている「学校」に寄付し、運営をサポートしています。その学校は、地域のために多方面に活動をし、自分たちの尊厳を高めながら、より自

律的で心豊かな生活となることを目指しています。

「再生可能エネルギー」というテーマは、他の会でも重要な取り組みの一つになっていて、アフリカのカメルーンで新たな活動を始めようとする NGO には、「太陽光発電」事業で得たノウハウを活用してもらうことにしています。当会は、この 3 月で会を閉めることになりましたが、これまでの蓄積を他の団体で受け継いでもらえるようにいくつかもりです！



(2 枚の写真とも、ニカラグア北部の街・エステリ



にある夜間女性成人学校においての、2019 年手作りソーラーパネル講習会風景)

## 南遊の会

本会は今年で創立 25 周年を迎えます。この間、ベトナム、ホーチミン市郊外のカンザー地区でマングローブ植林活動を継続して行っています。最初に植えた苗は 10m を超えるほどに成長しています。この植林活動は日越の大学生を中心とするスタディツアーとして毎年 8 月に実施しています。

2025 年は日本側 35 名、ベトナム側 25 名が参加し、3 日間に渡って放棄エビ養殖池で植林作業を行いました。放棄養殖池での植林は 2 年目となります。そこは泥が深く、1 歩足を踏み出すことすら難しい環境です。しかし、一度泥んこになると、それも楽しさに変わります。

カンザー地区のマングローブ林はベトナム戦争時に枯葉剤によって壊滅的被害を受けま



した。その後、地元の人々の努力によって緑は回復しましたが、単一樹種を植林したため本来の多様性は失われています。また植林後に塩田やエビ養殖池に転用された土地もあり、近年はそれらが放棄されつつあります。南遊の会は、この森を本来の多様性に富んだ姿へ回復させるべく、日越協働での再造林事業に取り組んでいます。森作りには長い年月が必要です。私たちは微力ながらもできる限り息の長い活動を続けていこうと考えています。



放棄エビ養殖池での植林作業

## （認定特活）アイキャン

フィリピン全土には、約 37 万人の厳しい状況に置かれた路上の子どもたちがいます。彼らは空腹や病気に苦しみ、事故や犯罪に巻き込まれる危険に常にさらされています。多くの子どもたちは毎日学校へ通うことができず、危険の多い路上で働き、わずかな収入を得ながらその日その日を生き抜いています。

こうした子どもたちが安心・安全な環境で暮らし、将来、自立した生活を送ることができるよう、アイキャンでは、身寄りのない子どもや育児放棄を受けた子どもたちを受け入れる児童養護施設「子どもの家」を運営しています。

同施設では、衣食住や学校教育を提供するだけでなく、子どもたち自身がガーデニングに取り組み、インゲンやモリンガなど栄養価の高い野菜を栽培しています。これは情操教育の一環であると同時に、持続可能な施設運営にもつながる取り組みです。

収穫した野菜や果物は、子どもたちが調理を手伝いながら食事として提供され、日々の生活の中で健康への意識も育まれています。

今後も子どもたちとの活動を継続してまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。



畑を耕す子どもたち



インゲン、モリンガ、さつまいが植えられた菜園

## (特活) イカオ・アコ

イカオ・アコは、フィリピン・ネグロス島、ボホール島で主にマングローブの植林など環境保全活動を行うNGOです。

かつて、対象地域のネグロス島の臨海部はマングローブが豊かな土地でした。しかし、材木の利用、農地開墾や養殖池への転換など、マングローブの伐採が継続的に行われてきたため、1950年代に13,000haあったマングローブの森は、一時500haまで減少しました。

干潮域に生育するマングローブの森は、水生動物の産卵場所、小魚や甲殻類の生息地として重要です。また、マングローブは他の樹木に比べて二酸化炭素の吸収量が大きいことから、近年では気候変動を緩和する効果が注目されています。

シーテッククリック募金により、西ネグロス州ビクトリアス市6A村にてマングローブの植林活動費として使わせていただきました(苗代、運搬費や間接経費などで1本当たり120円のコストがかかります)。

今後、地元住民が継続してメンテナンスを行い、森を育てていきます。

皆様一人ひとりのクリックが募金につながったことに感謝し、途上国の環境保

全活動を継続していきます。今後とも応援をよろしくお願いいたします。



### シーテッククリック募金とは？

シーテッククリック募金WEBサイト (<http://www.ctechcorp.co.jp/bokin2025/>) より期間中に「応援します」をクリックして頂きます。1クリック=10円としてクリック数に応じて(株)シーテックが環境分野で活動する名古屋NGOセンター加盟5団体へ寄付します。上限金額は20万円です。

### ご寄付20万円の配分について(2026年3月31日)

・(特活) DIFAR	34,000円
・ニカラグアの会	// 円
・南遊の会	// 円
・(認定特活) アイキャン	// 円
・(特活) イカオ・アコ	// 円 (順不同)

※事務手数料として寄付金額の15%(3万円)を頂戴しました。

特定非営利活動法人名古屋NGOセンター

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F

TEL&FAX 052-228-8109 E-Mail: info@nangoc.org